

# 平成27年度和歌山県文化功労賞

さいとう ことこ  
齊藤 言子 (本名 やすだ ことこ  
安田 言子)

住 所 兵庫県宝塚市  
出身地 和歌山県和歌山市  
生 年 昭和29年

## ◎ 業績及び経歴

昭和29年和歌山市に生まれる。神戸女学院大学音楽学部声楽専攻を卒業後、同大学同学部研究生を修了する。

昭和53年、第9回イタリア声楽コンクールで優勝、ミラノ大賞を受賞し、ミラノヴェルディ音楽院に留学。同年、マリオ・デル・モナコ国際オペラ歌手コンクールに最年少で参加し4位に入賞、モナコ賞を受賞する。

その他、パヴィア国際声楽コンクールで3位、ローディー国際声楽コンクールで審査員特賞、ベッリーニ国際声楽コンクールでベッリーニの声賞など、数多くの受賞歴を誇る。

日本、イタリア、アメリカ各地にて、オペラ主演(ノルマ、トスカ、椿姫、蝶々夫人、ルチア、パリアッチ、リゴレット、ラ・ボエーム、フィガロの結婚、魔弾の射手、こうもり、修道女アンジェリカ、天守物語など)、リサイタル、オーケストラとの協演など数々の演奏会で好評を得る。「天性の美声に加え磨きぬかれたテクニックと感性豊かな表現力、ノーブルなステージマナー」との評価を受けながら幅広い演奏活動を展開している。特に、関西二期会公演「フィガロの結婚」(平成10年、伯爵夫人役)では「咳払いひとつにも気品」、「天守物語」(平成14年、富姫役)では「泉鏡花の世界を格調高く情感豊かに表現した」、又、関西初演「ノルマ」(平成18年、ノルマ役)におけるの演唱は「見事に大役を果たした」と各界より絶賛された。

現在、神戸女学院大学学長を務めているほか、NHK全国学校音楽コンクール、和歌山県合唱コンクール、和歌山県高校生独唱コンクールなどの審査員を務め、後進の育成指導にも尽力している。国内外での音楽活動の経験を活かし、音楽文化の向上と振興に尽力してきた功績は誠に多大である。

## ■ 現 在

神戸女学院大学学長  
神戸女学院大学理事、評議員  
神戸山手女子高等学校音楽科非常勤講師  
関西二期会副理事長  
関西二期会オペラ愛好会評議員  
一般財団法人和歌山県文化振興財団文化事業アドバイザー  
和歌山県新人演奏会選考委員  
公益財団法人宝塚市文化振興財団理事  
日本演奏家連盟会員  
神戸音楽家協会会員  
宝塚演奏家連盟会員

## ◆ 主な表彰歴等

昭和53年 イタリア声楽コンクール優勝  
マリオ・デル・モナコ国際オペラ歌手コンクール4位  
昭和54年 パヴィア国際声楽コンクール3位  
ローディー国際声楽コンクール 審査員特賞  
ベッリーニ国際声楽コンクール ベッリーニの声賞  
平成21年 和歌山市文化功労賞  
平成22年 大阪国際音楽コンクール最優秀指導者賞